

平成 25 年度事業計画

(平成 25 年度事業期間：平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

日本の経済が東日本大震災の影響で未だ充分回復せず、当センターの運営は今後とも厳しい状況が予想され予断が許されない状況である。本年度も総務省・文部科学省が支援して開催される「スポーツ拠点づくり事業」による「全日本ジュニア障害馬術大会」が 10 年計画の 9 年目として当会場で開催される予定ですので、山梨県・北杜市と連携を密にし、立派なジュニア育成の大会にするように職員一同最善の努力をしていく。

また、「全日本ジュニア総合馬術大会」等の日本馬術連盟主要競技の支援や各種大会を継続して誘致するなどして、当施設の有効活用を図っていく。国体関係の強化選手への指導やスポーツホースの事業にも積極的に取り組んで行く。さらに、地域スポーツや文化の振興を図る為に、北杜市が開催する「ホースショーインこぶちざわ」のお祭りや、「富士の国やまなし国文祭」にも協力していく。

平成 23 年度山梨県馬術競技場機能整備向上事業により、整備した施設等を有効利用しつつ、利用者に満足のいく施設維持を図っていく。

平成 25 年度は次のような基本方針により当センターの運営を進める。

- (1) 事業収益の向上を図りながら、更なる運営経費の削減により自立的な経営を図る。
- (2) 利用者のニーズに応えられるよう、利用しやすい施設の改善に取り組み、サービスの向上を図ると共に、さらに情報公開を図っていく。
- (3) 新たな事業に積極的に取り組みつつ、段階的に公益財団法人として増収を図る

1. 公益目的事業

1. 山梨県馬術競技場施設の有効かつより高度な利活用を図るため、大会開催者に会場を提供し全国レベル、県レベルの各種大会の開催への支援、また、県内外の大学・高校・その他の合宿や講習会の受け入れを行う。

① 馬術大会 (別紙参照)

(イ) 県外

一般 5回 学生 4回

(ロ) 県内

一般 10回 少年 1回

② 合宿訓練

日本馬術連盟総合馬術合宿

各県馬術連盟合宿

山梨県馬術連盟強化合宿

各県の乗馬クラブ等合宿

各大学・高校馬術部長期合宿

③ JOC(日本オリンピック委員会)競技別国内強化拠点としての利活用。

オリンピック大会の馬術競技の競技別強化拠点としてJOCより継続し認定されている。

今年度も総合馬術ナショナルチームの合宿等、強化対策に幅広く活用できる体制を整備する。

④ トレッキングの受け入れ

小淵沢の美しい自然に恵まれた「まきばの郷事業」のトレッキングコースを活用して乗馬関係団体等の企画する人間のクロスカントリーマラソンや乗馬外乗ツアー及びトレッキング大会を受け入れ、また、人間のウォーキング大会やクロスカントリーマラソン等の生涯スポーツの普及に協力する。

⑤ 「緊急雇用創出事業臨時特例基金事業」により「山梨県馬術競技場環境整備」として、トレッキングコース 10km のコース再整備事業が行われる。

⑥ 馬事振興に寄与すべく、優良乗用馬育成供給。競技成績のすぐれた繁殖牝馬繁養し、優良な繁殖種牡馬による交配を行い、継続して生産育成をする。

1. 優良繁殖牝馬

福姫号

2. 優良繁殖種牡馬

ケイエン号

ハルコンデラパラ号

元気号 (4歳)

⑦委託事業として山梨県所有の県有馬 6 頭の飼育管理と、乗馬の調教を行う。

1. 県有馬 6 頭の委託を受けて飼育調教を行う。 県有馬名簿一覧表

馬 名	種 目	産 地	年 齢	色	性 別
富 士 山	馬 場	オ ラ ン ダ	22	黒鹿毛	セ ン
ヴィクセン	障 害	北 海 道	10	芦 毛	牝
メープル	障 害	オ ラ ン ダ	14	黒鹿毛	牝
シリウスランド	障 害	北 海 道	19	鹿 毛	セ ン
エターナルブレス	障 害	北 海 道	6	栗 毛	牝
サンレインボー	障 害	アイル ランド	15	青鹿毛	セ ン

⑧主催行事の開催

2013 山梨グランプリを日本馬術連盟公認競技会として主催し、馬術の普及並びに技術向上を図ることを目的として実施する。

主 催 (公財)山梨県馬事振興センター

後 援 日本馬術連盟 全国乗馬倶楽部振興協会

山梨県馬術連盟 山梨地区乗馬倶楽部振興会 ホースマンクラブ

1.参加頭数 2008年 参加頭数 68頭 2009年 参加頭数 105頭
2010年 参加頭数 130頭 2011年 参加頭数 111頭
2012年 参加頭数 154頭

2.競技種目 障害競技L級D～M級Aまで 23 競技実施

2. 収益事業

①スポーツホース預託調教受入事業

我が国のスポーツホースのレベルアップを図ることを目的として、県内外の競技馬を対象に当センター職員による能力アップの為の調教を受託する。

A・B・Cの3ランクとする。

②農林水産省からの委託事業について、(財)畜産生物科学安全研究所と共同で、馬用動物医薬品に係る各種試験事業に協力していく。

3. その他

①経営計画の見直し(自主財源確保・経費削減)

②山梨県馬術競技場施設景観維持の為、年間を通じて施設の保全に努める。

③.馬事普及のための施設利用

乗馬愛好者及びハンディキャップのある方々への施設開放や写生大会、北杜市小中学生の遠足や見学を受け入れて開放し、乗馬の啓蒙を図る。

④.場内公園化の推進

ユニバーサルデザインを考慮した、花と緑の豊かな馬の競技場を目指して整備を進める。(構築物の塗装・植栽・ベンチの設置・観客席・馬場への砂補充等)

⑤その他の催し

CM・テレビ・映画・地域の馬の祭典等への開放

⑥協力加盟団体との連携を行う。(公社)日本馬術連盟全国大会の共催や競技馬の登録

(公社)日本馬事協会繁殖種馬の登録や貸付及び繁殖研修会への支援の受け入れ。

⑦toto の補助金を研究したり、広く広告協賛を募り、新たな収入確保に努める。